

楽友会通信

No.81

2020/5月 日本指笛協会発行

■ 萌えだした若葉が青空に映え、次々と花が咲きだす、この清々しい季節の到来に、なんとも恐ろしい新型コロナウイルスの蔓延が日本全国を脅かしています。感染予防に最大限の注意を払いながら、一日も早く心置きなく指笛を奏でられる日のくることを心より願っております。

目次

- 1 浅草木馬亭 おたのしみ演芸会・・・・・・・・・・P1
- 2 指笛ワークショップ(中止)・・・・・・・・・・P3
- 3 心に残る指笛のワンシーン・・・・・・・・・・P3
- 4 事務局からのお知らせ・・・・・・・・・・P8

1. 浅草木馬亭 おたのしみ演芸会

3月29日（日）、すでに新型コロナウイルスが感染拡大を見せ始めている頃でしたが、おたのしみ演芸会が開催されました。日本指笛協会からは片山陽一さんが出演されました。

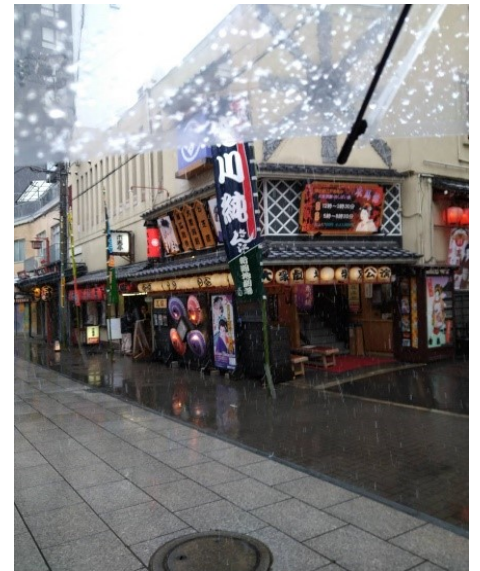
折しもその日は朝から雪！早朝にみぞれが雪に変わると、瞬く間に本格的な降雪となり、辺りはたちまち雪景色となっていました。3月とは思えない冷え込みの中、また新型コロナウイルス感染予防に万全を尽くし、片山さんはマスクに皮手袋の装備で赴かれたそうです。

こんなに人気のない浅草。
前代未聞です。





仲見世もこのとおり
ほとんど人通りがあり
ません。
桜は美しく咲いている
というのに・・・



山梨からの出演者さん



楽屋の木札



片山さんは、持ち時間15分の中で「森の水車」「山小屋の灯」「埴生の宿」「一晩中踊り明かそう」の4曲を演奏されました。
日本指笛協会を代表して、指笛の音色を浅草の地に響かせて下さいました。

2. 指笛ワークショップ（中止）

4月19日（日）スタジオK にて開催を予定しておりました“指笛ワークショップ”は、新型コロナウイルス感染予防のために中止となりました。

指笛を広く多くのかたに広め、知って頂く機会として昨年より実施しており、今回が二回目の開催予定でした。

指笛の愛好者を増やすためには、まず

『知って頂く』『興味を持って頂く』ことが大切ですね。これからも指笛の裾野を広げて行く活動を継続してまいりたいと思います。



3. 心に残る指笛のワンシーン

皆様は指笛を始めて何年になりますか？

これまで様々な場面で、指笛を演奏されたり演奏を聴いたりなさった事と思います。その時々には素敵なシーンが皆様の指笛ライフを彩ってきたことでしょう。

その中でも、一番心に残る指笛のワンシーンを教えて頂きました。

フジテレビのスタジオが新宿から現在のお台場に移転して間もなく、当時女性アナウンサーであった「木佐」さん進行による指笛で「第九を歌う」（喜びの歌）に参加した時の事です。楽友会メンバーは、リハーサルのために早めにスタジオ入りをして客席に陣取っていました。その時、田村大三先生、静海先生そして門下生であった峯村氏が石原泉先生のピアノ伴奏により、ステージと客席からいきなりヴェートーベンの歓喜（喜びの歌）が指笛でスタジオ内に演奏されたのです。他の観客の驚きは大変なものでした。拍手喝采であったことは言うまでもありません。

「心に残るワンシーン」です。



中村 倫二

私の一番の感動!

近所の仲間6人で箱根に行ったとき、旅館に入る玄関前で遠くでうぐいすが鳴いていました。「鳴き比べてみようか」と指笛を吹いたら遠くで鳴いていたうぐいすが鳴き止み「何処かに行ってしまったね」と言ってるときに近くに来て鳴き出しました!みんなはビックリするし私はこんなに嬉しいことはありませんでした。多分縄張りに入るなと喧嘩をしに来たのだと思い、演奏するよりも感動を覚え、指笛って凄い!上手くなって生涯続けようと心に誓った記念の日になりました。



片山 陽一

小さい頃より私は、書道を習っておりました。学年が上にいくと、最終21:00です。夜道を心配した父はいつも迎えに来てくれました。その時の合図が指笛でした。一年中綺麗なうぐいすが鳴き出すのです。それが迎えに来たぞー!!!ということがわかっておられた先生が、「あら!美幸さんお父様のおむかえよ」とおっしゃり、私は帰り支度を致しました。その指笛こそが私の一番のラブシーン



小林 美幸

ずっと前のことですが、大三先生の師、後藤静香の墓前祭の懇親会の席でした。すぐ目の前の先生の指笛演奏。指をふくアルコールの香りと共に、響き渡った指笛。体中に響き渡った。静海先生が歌いました。



中澤 宏則

私は2012年から2017年までの指笛発表会において、毎年、赤いジャケットの上着を着て演奏しました。その中でも2013年の「乾杯の歌」だけは白ズボンでした。その他の年は黒ズボンです。赤白のオリンピック選手のような衣装でしたが、最後まで気を引き締めて「乾杯の歌」を奏でました。沢山の拍手を頂いたことが心に強く残っています。



有吉 憲行

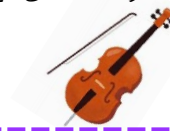
心に残るワンシーンは、田村大三先生との出会いです。心の家という修養団体の青年部の研修会で初めて指笛演奏を聴きました。「口笛吹きと仔犬」でした。正に「感動」の一瞬でした。これを私の楽器として取り入れようと誓った一瞬でした。しかし、やさしい曲を演奏できるまでに3年もかかりました。熱心に練習しなかったからです。これはと思ったら集中して取り掛かることが大事です。そして、「嫌ごと」を言ってくれる人を持つことです。



村山 壮人

“バッハ生誕335年記念コンサートに参加して”

ハヶ岳リードオルガン美術館とは長く付き合いがあり、夏はご家族の音楽会、12月は近くの楽団と共にメサイアを聴きに行っていました。館長の原先生は、若い頃新宿区役所に勤めていて、大三先生がボランティアでよく来て下さっていたと懐かしんでいらっしゃいました。昨年のメサイアは奥様の怪我で中止になりましたが、その際3月21日のバッハ生誕コンサートのお誘いがありました。ひとり10分の持ち分を頂き、一曲目は以前より練習していたグノーのアベマリアを決め、二曲目は8小節だけ知っていたピアノ練習曲の「メヌエット」バイオリンバージョンで。一番大変だったのが指揮者も含め、7人全員で演奏する「主よ 人の望みの喜びよ」で指笛はアルト部分を頼まれた事。パイプオルガン・ソプラノ・テノール・チェロ・ハルモニウムと共に心地よく演奏でき、音階を狂わせていないか等、神経を使いました。当日はコロナ禍の為無観客でしたが、プロの中のアマチュアは指笛とチェロ。91歳のオルガニストに合わせての二曲目の初めの音が出ず焦りました。チェロのかたのように、オルガンと一小節合わせてからの演奏が必要と反省しました。奥様の「来年は飛躍的に上手に演奏なさるので楽しみにしています。」の言葉が今も胸にささるコンサートでした。



河津 菊枝

指笛を知ったのは、偶然ユーチューブで田村先生の指笛を聴いた事でした。それがきっかけで指笛に興味を持ち、今では身体の一部になっています。一生懸命練習しているのですが発表の場所がなくて残念です。



坂本 一巳

ニューヨークで、指笛のストリートミュージシャンをやったとき。『アメージング・グレース』を演奏したら、人が集まって来て、帽子にお金を入れてくれた。



塩谷 彰宏

私が印象に残っている指笛は、中村倫二さんの「大きな古時計」です。一音一音が綺麗な音で聴いたときに感動して涙がでました。



武田 由紀子

早朝の拍手

昔々まだ若かった頃、ストックホルム。発表会を間近に控えた時に出張。練習をしたくて早朝のホテル前へ。すぐ前が港で対岸には古いお城。人通りは少いので思いきって音を出す。段々大胆になり発表予定の曲を吹いてみた。突然後ろから拍手が。驚いて振り返ると一人の女性がワンダフルと拍手。サンキューそんなワンシーン。



竹中 速雄

10年前の4月24日の大三先生の大泉学園のご自宅での25の会に、私は初めて参加して療養中の先生にお会いしました。それが最初で最後の対面となりました。



有賀 猛

自分のワンシーンは、初めて保育園へ演奏に行った時、子供達に『指の中に笛隠してんでしょ!』と本気で疑われた事です。



藤好 真也

私は教会に所属していますが、昨年10月お寺で演奏する機会を頂き、私達の演奏最後の曲は「上を向いて歩こう」でした。

バンドも息が合っていたので、最後の二音の前にたっぷり静寂をとって、指笛の音でエンディングへ。300人規模の本堂が一体となった心地よさを感じました。

曲の力、音楽の力、田村先生を通じて授かった指笛の力、演奏する仲間、聴いてくださる皆様。多くの人に支えられた今在る喜びを感じました。



笹原 和則

田村大三先生との出会い

私が呼びかけ人になり、平成17年（2005年）7月10日に「指笛王国おきなわ」を建国しました。翌8月27日（土）に別用で上京した折、指笛楽友会の会員・吉田重雄さんに連れられて、練馬区の田村大三先生のお宅を訪ねました。先生は車椅子の生活でしたが、私が沖縄から来たことを吉田さんが紹介すると、私の両手を取り、何度も握手して激励してくださいました。その日は指笛楽友会の練習会が先生のお宅で開かれていて、私も「体験入学」させていただきました。その日の感動は今でも熱く胸に焼き付いています。



垣花 譲二

私は、主人と一緒に舞台上で指笛を演奏したことがあります。「ドレミの歌」や『ピクニック』を合奏しました。その中でもとても楽しく、気分良く吹けたのは、2015年、81周年記念発表会において演奏しました「ピクニック」です。石塚先生のご指導のもと、楽しく、温かく吹けたのが、心に残っています。



有吉 潤子

私にとって心に残る指笛のワンシーンは私の初めての舞台発表会で吹いた“旅愁”の一幕です。それは2010年11月20日の76周年指笛音楽研究会田村大三先生追悼演奏会です。4月24日は大三先生が天に召された日であり、友の有賀さんと初めての一緒にレッスン日でした。それから半年後の発表会であり失敗は出来ないという思いもあり当日は先輩の方々のヒシヒシとする緊張感が否応なしに伝わってきました。その様な雰囲気の中私の緊張感もリハーサル前の食事から始まり、リハーサルも雲の上で吹いている感じでした。唯々ピアノ伴奏の石原泉先生の“大丈夫よ！”との一声だけを救いの声のようにハッキリ覚えています。案の定リハーサルの時の先輩の方々、そして指笛松島恵先生の圧倒的な音色にビックリして、いざ本番の時はなにをどう吹いたのか全く覚えておりませんでした。そんな“覚えていない自分の姿”が心に残る私のワンシーンです。これから先輩のそして仲間の方々のご指導を頂き、さらに練習に励みたいと思っております。

宜しくお願い致します。



中澤 忍

私にとって、心に残る指笛のワンシーンは、2つ有ります。

1つは、楽友会の指笛音楽の発表会で、出演者の方が、素敵な衣装を纏い、男性は蝶ネクタイにおしゃれなスーツで、女性はロングドレスを着て、とても華やかで、指笛音楽も高い音も伸びやかに演奏をしていたシーンです。

鳥肌が立つほど、素敵な発表会だと感激でした。

もう一つの心に残るワンシーンは、沖縄の指笛王国主催の、「楽しい指笛の世界」で父親と孫と一緒に舞台に立てたことです。

数え90歳の父と指笛音楽で繋がり、更に指笛の吹けない6歳の孫でしたが、娘なら親子3代ですが、それを飛ばして4代目が「りんごの歌」で🍏を持って一緒に出演。

それも、前日の練習の時に突如決めた為、打ち合わせも一度しかしていない。

そんな状況でも、しっかりと大勢のお客様の前で一緒に演奏を盛り上げてくれた事は驚きましたし、将来が楽しみになりました。

今後も親子での共演や孫にも指笛を教えて、ちびっこの演奏などもできるといいなあ。

と孫に期待している自分がいます🥰



松本 京子

私が以前勤務していた特別養護老人ホームに、新座の指笛のグループのかたが慰問に来て下さった事があります。事務室前のエレベーターホールで音出しをされている時にちょうど私が通りかかりました。生まれて初めて聞く指笛の音量と音色に圧倒され、強く印象に残っています。私が指笛を始めるきっかけとなった記念すべき出会いでした。



植松 久美子

4. 事務局からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染が今だに続いている現状です。感染拡大が収束して、皆様とお会いできるようになる日まで、節度ある生活に努めてじっと待ちたいと思います。

どうぞお体に十分気を付けてお過ごし下さい。



この度は、アンケートにたいへん多くのかたにご協力を頂きました。
厚く御礼申し上げます。
ありがとうございました。

